

No. 1 事務事業における到達目標の明示と、その検証を踏まえた見直し		総合政策部 各部
<b>取り組みの方向性</b> 事務事業に明確な到達目標（指標）を設定し、より確度の高い効果測定につなげる。また、事務事業の達成度等を踏まえ、既存事業は令和3年度に、令和2年度以降の新規事業については施行後概ね2年後を目途に、事務事業を検証し、見直し・廃止を行う。	<b>これまでの取り組み・現状</b> 平成28年度から平成30年度にかけて実施した事務事業・補助金の見直しについては、平成29年1月に「事務事業・補助金見直し計画」、平成30年2月に「事務事業・補助金見直し計画（平成29年度追加版）」、平成31年2月に「事務事業・補助金見直し計画（平成30年度追加版）」として見直し内容を取りまとめ、事務事業・補助金の改善や廃止の取り組みを行った。	

	R 2	R 3	R 4	R 5	備 考
取 組 目 標	・事務事業実績測定の見直し及びその運用開始 ・事務事業の見直し・廃止に係る仕組みの構築	既存事業の検証・見直し	令和2年度開始の新規事務事業について検証・見直し	令和3年度開始の新規事務事業について検証・見直し	
目 標 効果額	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	累積効果額 — 千円
取 組 実 績					
実 績 効果額	千円	千円	千円	千円	累積効果額 千円

No.2 経常経費（枠配分予算）の検証

総合政策部

<p><b>取り組みの方向性</b></p> <p>今後、事務事業実績測定の見直しに取り組むことを踏まえ、現行の予算編成手法についてもそれに合わせて必要な見直しを行う。同時に、現状、経常経費（枠配分）としている事務事業について、定期的に検証できるよう枠配分制度を一部改める。</p>	<p><b>これまでの取り組み・現状</b></p> <p>経常経費（枠配分予算）は、経常経費にかかる一般財源を各部へ枠配分することで、「効率的・効果的な予算配分」、「自律型組織への転換」などを目的に平成 16 年度当初予算編成から導入し、現在に至っている。これまで、一部見直し等を行いながら、当初の目的を達成するため、長年にわたり同手法を継続してきた。</p>
---	---

	R 2	R 3	R 4	R 5	備 考
取 組 目 標	<p>事務事業実績測定の見直しと歩調を合わせた編成手法の見直しを実施</p> 				
目 標 効果額	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	累積効果額 — 千円
取 組 実 績					
実 績 効果額	千円	千円	千円	千円	累積効果額 千円